

第一回木工教室



2024年3月16日（土曜日）大阪府岸和田市木材町16-1（株）服部商店本社にて第一回木工教室を開催しました。ご参加頂いた方は主に地元の子供達とご家族でした。

今回の取り組みは無垢材を普段から触れていない子供達（特に低学年）に、神様の最高の贈り物の無垢材に触れる事で心身共に成長をはかれるのではないかと考えた企画です。

ご参加頂いた方の多くはインスタグラムの木工教室開催のお知らせでお集まり頂いたと思います。

本来は、木工部 古川明奈先生の指導で行う予定でしたが彼女の体調が思わしくないの
で熊代工場長が代わりをさせて頂きました。

何故木材が売れない、何故材木屋は衰退する、何故木材業界は尊敬されない等、様々な課題が我々に襲い掛かっているのが昨今の実情だと考えています。こういう状況下、それに対して我々は本気で取り組んでいるのでしょうか。

『日本の少子化対策と同じことで、呟いているだけでは木材復権は絶対に起こらないと考えています』

服部商店は考えました。①子供達の安全を第一に考えること ②無垢材に触れること ③作る喜びを感じる事 ④お片付けの躰にも通じること ⑤物作りの面白さを感じる事 ⑥お小遣い程度の出費であること ⑥考えることが体験できること 等の様々なニーズが有ると思います。

5月25日に第二回目の開催を予定しています。詳細は最後のページで御案内させて頂きます。

アメリカ材第二弾入荷しました。



3月18日愛知県飛島村に卸したブラックチェリー原木（ペンシルバニア産）左のコンテナとホワイトオーク原木（オハイオ産）右側のコンテナです。両方共パナマ運河回りで日本にやって来たので、外観は少々見にくくなっていますが中身は心配ありません。

ホワイトオーク原木は世界的な需要の増大と、アメリカ国内の人手不足のため積極的な供給が出来ていないと聞いています。原木価格が高ければ製品を輸入すれば良いと思われませんが、ホワイトオーク製材品4/4・5/4インチ材～6/4・8/4サイズまで幅広く値上りしています。特に8/4サイズの価格はウォールナット8/4サイズに近い価格まで上昇しています。

と言うことは国内で製材している40ミリ以上の厚みの材も高騰するでしょう。40ミリ以上の厚みのホワイトオーク材は目の細かい柔らかい原木でしか出来ません。

櫓・オーク材の場合40ミリ以上の厚みの材の多くは柾目で製材します。理由は板目だと表面ワレが発生するからです。ここで注意して頂きたいのは下記です。

平柾の厚い板の横はほとんどの場合板目になります。材質の硬いホワイトオーク材はその板目が割れるのです。アメリカの現地挽は6/4以上の厚みの製材品を製材する工場の多くは柔らかい質の原木を吟味して製材しているのが殆どですが、硬い材質の原木も多少混入しているのが現実です。又日本国内の工場の様なワレ止めのボンドを多用している工場はごく一部だと聞いています。

櫓・オークの製材品で27ミリ・34ミリは何とかなくても、40ミリ以上の材に関しては凄く供給が難しくなると予想しています。今回入荷したホワイトオーク原木は最も品質が良いとされているオハイオ産です。しかも長材（4メートル材）を多く取れる長木の原木が殆どです。

日本国内の櫓・オークのマーケットは異常なウイスキーの樽バブルの為に、高品質な材は2025年以降超不足すると小生は予測しています。

アメリカンブラックチェリーの現地価格は落ち着いています。ただし弊社が取り扱っているペンシルバニアのブラックチェリー材の価格は、横ばいながら生産量は決して多くありません。理由はアメリカ中が好景気の為に伐採に携わっている人手が足りないからだと言われています。

今回で、このサプライヤーに変更して4回目の仕入になりますが、今回が最高の品質であったと思います。

現在アメリカ広葉樹の仲間で埋蔵量・毎年の成長量・品質・用途等のことから考えると、ペンシルバニアもしくはニューヨークのブラックチェリーを使用するのが、商品として最もお得だと思います。色の変化に時間が掛かるのがこの樹種の特徴ではありますが、もっと多く使って頂きたいと思っています。

今期最後のアメリカ材買い付けはホワイトオーク原木



2024年2月21日現地を出発したホワイトオーク原木です。本数は38本。グレードは4サイドクリアーです。

今期の買い付けはコンテナ5本でしたので予定通りに行ったと思います。

日本入港は4月中旬過ぎだと思えます。ところでホワイトオーク材の原木の受給バランスは完全に崩れています。需要が凄く多いと言うより供給が非常に少ない

と言うのが現状だと思います。最近の話ですが、ウイスキーを製造する国内産の樽材の樽を使っていたメーカーが、新規にアメリカにホワイトオーク原木の新規発注をしている情報を聞きました。

世界的にウイスキーバブルが起き、ホワイトオーク原木・樽原木が高騰していますが、この情報から見ても供給が安定することは当分ないと聞いています。

父が亡くなって21年。

2003年3月23日AM11時30分頃小生の父服部良昌が亡くなりました。それから数えて21年になります。父の思い出と小生が覚えている服部商店の歴史を振り返って見ます。

1962年位 小生が1階の窓から転落しました。転落したのは堀でした。

1964年位 製材のオガを集める集塵機が完成した夜に棧干し場から転落しました。

1966年位 大正区から住吉区に転校しました。余りの変化に戸惑い成績は最下位。

(この頃春・夏の高校野球を観戦していました。)

1970年位 主力樹種の割合はカツラ・スプルスが50%ずつになったと思います。

1973年位 夏に初めて北海道に番頭さんと2週間出掛けました。

(カツラ材のメインの仕入先 賀集産業様に凄くお世話になりました。)

当時の北海道は最盛期でありました。(今思えば、広葉樹資源を大事にしていたらと思います。)

1980年位 大学を卒業して、愛知県の名古屋市売木材に入社。

(その頃は国産針葉樹が最も売れた時代でした。)プレカット工場が出来つつありました。当時の工場は入室制限が行われていました。

1983年位 (株)服部商店入社 愛知県の大手問屋と新規の仕入先を開拓する。

(アガチス材等の南洋材が最も売れた時代でした。)

1989年位 服部雅章、結婚する。

(結婚式に来て頂いた来賓の中で現在お世話になっているのは税理士さんだけ)

1998年位 インターネットと出会う。

(囲碁将棋のネット販売を始める。)

2000年位 hattoriwood ドメインを取得する。

(当時は今の様なネット社会が来ることは想像していませんでした。)

2008年位 番頭さんが倒れる。

(カツラ材が枯渇して、商いの形態を変えざるを得なくなった。)

2010年位 得意先の廃業が続出してきました。

(ネット販売に積極的に乗り出す。)

2022年 NCルーター機購入する。

(はっきりとした目的が有ったものではありません。と言うか現状維持が会社存続には無理だと判断しました。)

2023年 木工部設立

(誰も考えないニーズが有るのではないかと言う発想以外に、材木屋が生き残れないと判断しました。)

2024年 【そうぞうざっか】と言う商標登録を行いました。

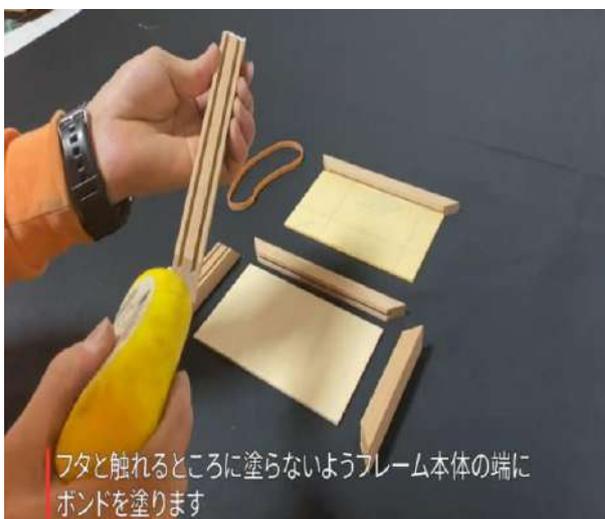
(世の中に求められる材木屋への第一歩を踏み出す。)

木工教室のご案内

そうそうもっこうゲーム (知育玩具)

平和パズルミニの製作に挑戦してみませんか。

- 日程 2024年5月25日(土曜日)
時刻 AM10時～約2時間
催し内容 くぎもノコギリも使わない木工
料金 4月30日迄にお申し込み頂いた方は当日2,000円をお支払い下さい。
募集人数 30名限定
応募方法 この申込用紙でお申し込み下さい。



第二回木工教室参加・申込用紙

F A X 072-422-8577 又は
wood2@hattoriwood.co.jp



ご不明な点は、0120-194-511 に御連絡下さい。

日程 2024年5月25日（土曜日）
時刻 AM10時～ 約2時間
催し内容 くぎもノコギリも使わない木工
料金 4月30日迄にお申し込み頂いた方は当日2,000円をお支払い下さい。
募集人数 30名限定（当日お申込みの方は2,500円をお願いします。）
応募方法 この申込用紙でお申し込み下さい。

お名前	
参加人数	
ご職業	
ご住所	
連絡先電話番号	
メールアドレス	

〒596-0011
大阪府岸和田市木材町16-1
（株）服部商店
TEL 072-438-0173・0511